

改善報告書

令和7年7月10日

1. 大学名：九州共立大学

2. 認証評価実施年度：令和4年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○経済学部地域創造学科の定員について、改善策を検討し実施しているが、収容定員充足率が0.7倍未満であるため、入学者の確保について改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

九州共立大学は令和6年度においてスポーツ学部にごどもスポーツ教育学科を設置した。設置に際して、大学全体の入学定員の見直しを行ったが、見直しについては、本学各学部・学科の志願状況および本学が設置している学科系統を持つ他大学の志願状況、受験者の動向等を調査したうえで、本学の志願状況と受験生の動向を検討し、各学科の入学定員を、経済・経営学科350人から360人に、地域創造学科80人から50人に、スポーツ学科250人から220人に変更した。また、新設のごどもスポーツ教育学科の入学定員を50人とし、定員管理を行った。【資料2-1-1】令和7年度については、令和6年度の志願者数、入学者数等の入試結果を検討し、経営・経済学科を360人から330人に、スポーツ学科を220人から250人に変更し、定員管理を行った。【資料2-1-2】

改善を指摘された地域創造学科については、令和6年度の入学者は57人、令和7年度の入学者は54人であり、令和7年5月1日現在、収容定員260人に対し在籍者は207人で、定員充足率は79.6%と改善した。【資料2-1-3】

入学定員の確保については、九州・沖縄・山口の各県に高校訪問を行う担当者を配置し、本学および地域創造学科の学びの特色や就職実績等を高校教員に直接広報し、高校との信頼関係を構築している。また、高校生に対しても、オープンキャンパスで本学および地域創造学科の学びを体験する機会を提供している。さらに進学相談会や出前講義等に積極的に参加し、高校生・保護者等に対して本学および地域創造学科の広報に努めている。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目2-1の資料

【資料2-1-1】九州共立大学スポーツ学部ごどもスポーツ教育学科設置認可申請に係る資料（認可書・基本計画書）

【資料2-1-2】九州共立大学収容定員関係学則変更届出に係る資料（届出書）

【資料2-1-3】学部、学科別在籍者数（令和7年5月1日現在）